

CancerBoard Contents

Square

Issue October
vol.4 no.3 2018

[アートディレクション&タイトルロゴ]
白石良一
[デザイン]
丸山太央・今泉友里 (白石デザイン・オフィス)
[表紙イラスト]
橋本 聡

Cancer Board Conference

多発するFNH様結節のフォロー中に
急激な経過で出現したHCCの1例
(第39回 東京腫瘍内科カンファレンス) 5 (383)

特集

恐れず恐れよ！ 骨転移診療 超実践ガイド

Part1 骨転移診療の今

ひろがる骨転移診療
——いま骨転移診療になにが起こり、これからどうあるべきか 河野博隆 24 (402)
骨転移診療のロードマップ 大島和也 28 (406)

Part2 骨転移は誰が、どう診ればよいのか

骨転移は一人では診られない
——骨転移診療に求められる医療のチーム制 天羽健太郎 32 (410)
各職種の役割と現場を変える積極的なかわり方
整形外科の立場から 佐藤 雄 34 (412)
腫瘍内科の立場から 扇田 信 35 (413)
原発乳がん担当科の立場から 林 直輝 36 (414)
放射線診断科の立場から 中西克之 37 (415)
放射線治療科(放射線腫瘍科)の立場から 河守次郎 38 (416)
緩和ケア科の立場から 松田洋祐 39 (417)
理学療法士の立場から 荒田雄人 40 (418)
作業療法士の立場から 谷口小百合 41 (419)
看護師の立場から 山口郁美 42 (420)
薬剤師の立場から 濱谷佳名子 43 (421)
医療ソーシャルワーカーの立場から 池山晴人 44 (422)
患者・家族の考え 田平芳子 45 (423)
【座談会】骨転移と向き合うためのチームビルディングとマネジメント
山田眞佐美・上野直人・大島和也・天羽健太郎 47 (425)

Part3 病期からみた骨転移ケアの超実践

もう「痛み待ち」はやめよう！
——連絡体制で実現する「先回り」の骨転移診療 天羽健太郎 58 (436)
骨転移リスクを抱えるのは、どのような患者か
——臨床現場から学ぶ特徴と傾向 伊村慶紀 61 (439)
早期発見・重症化防止のための
骨転移診断・治療のエッセンス 中井隆彰 64 (442)
Phaseからみた骨転移の診断・治療 佐藤 雄 70 (448)

Part4 がんの進行と地域医療介護・在宅ケア——局所から全身へ ゴール設定からはじめる! 骨転移を伴う進行がんのトータルケア 大島和也	96(474)
骨転移を伴う進行がんの身体リハビリテーション ——ロコモティブシンドロームとフレイルのケア 鈴木昌幸	104(482)
骨転移を伴う進行がんのメンタルケア ——患者・家族の精神状態とその支えとなるケア 藤井志郎	108(486)
骨転移を伴う進行がんの意思決定支援 ——患者・家族が抱える不安への寄り添い 田平芳子	112(490)
骨転移を伴う進行がんの口腔ケア ——口腔トラブルとオーラルフレイルのケア 石橋美樹	116(494)
骨転移を伴う進行がんの栄養サポート ——がんに必要な食事と管理 松岡美緒	120(498)
骨転移を伴う進行がんの看護ケア ——地域社会につなぐために求められる看護 市野由佳子・岡本美香	124(502)
骨転移を伴う進行がんの生活支援と地域へのつながり ——生活環境・社会背景に応じた調整と配慮 島崎寛将	128(506)
骨転移を伴う進行がんの薬剤管理 ——必要なケアと在宅での管理 岩西雄大	134(512)
骨転移を伴う進行がんの社会支援 ——社会生活に必要な資源と活用法 岡本亜樹・池山晴人	137(515)
骨転移を伴う進行がんと地域医療介護・在宅ケア ——地域医療の現状と課題、これからのかたち 片岡桂子	140(518)

Part5 今後への期待

骨転移、進行がんの時代を先読みする ——先んじて制するには 荒木信人	146(524)
---------------------------------------	----------

連載

患者さんに「寄り添って」話を聴くってどういうこと? [2] 共感するってどういうこと 清水 研・白波瀬丈一郎	150(528)
國頭ゼミの課外授業 わたしたちは、こう考える [3] 燃え尽き症候群 國頭英夫	156(534)
臨床医のためのワンテーマ腫瘍病理[10] 情拳設定 市原 真	161(539)
これからの免疫療法の話をしよう[9] 新しいがん種別の治療の可能性 北野滋久(監修 珠玖 洋)	162(540)
Medical Oncology 2.0 [5] がん診療の「最適解」を導く技術 その2 公平 誠	170(548)
漢方のすゝめ —— 支持療法における処方の方考え方[5・最終回] 産・官・学で推進する、国民の健康と医療を担う漢方薬研究 上園保仁	176(554)
これからのがんサポート[10・最終回] がんになっても安心できる社会の構築に向けて 品田雄市	180(558)
フクシマ日記——A diary from Fukushima[10・最終回] 2018年9月某日「未来へ」 佐治重衡	184(562)
人間はいつから病気になったのか —— ころとからだの思想史[10・最終回] 痛みと生命 橋本一径	185(563)

企画・執筆者紹介	190(568)
次号予告	194(572)
Editorial	195(573)